

大山の恵みにかこまれて  
「おじいさんおばあさん♡  
地域のみなさんありがとう」

大山きやらぼく保育園



▲大収穫！！

大山きやらぼく保育園では、10月18日におじいさんやおばあさん、地域ボランティアの方とイモ掘りをしました。サツマイモのつるを一生懸命に引っ張る子、土を一生懸命掘っている子もいました。土の中からサツマイモが顔を出すと、子どもたちから次々と歓声が上がりました。

このサツマイモは、6月に300本の苗をボランティアの皆さんにお手伝いしていただいて植えたものです。掘ったイモは、11月16日に焼き芋大会を開いて皆さんと一緒に食べました。

園では、開園当初から、地域の皆さんのご協力により、タケノコ掘り



▲すごーい。大きなおイモが掘れたよ！

をはじめとして野菜栽培やヒマワリ迷路づくり、焼き芋大会や七草がしなど、たくさんの体験に取り組んできました。

これも秀峰大山の恵みのおかげと感謝しています。

近頃では、田舎に暮らしていても、家庭で自然に触れたり、様々な体験をしたりすることは少なくなっています。そこで、地域のみなさんのご協力が重要になります。子どもたちが健やかに成長し、ふるさとが好きで、大山町で活躍してくれることを願っています。

第5回大山上学講座

『日本遺産ゆかりの地を訪ねて』

名和公民館

11月5日に第5回大山上学講座を行いました。昨年日本遺産に認定された信仰の山「大山」が育んだ歴史と水の世界を物語として構成するゆかりの地、江府町く伯耆町く大山町のコースを26名で巡りました。

下蚊屋のまち並み散策に始まり、紅葉に目を奪われつつ、大山の豊かな水が流れる木谷沢溪流や丸山地蔵滝へ。先人の暮らしをイメージしながら歩いた坊領道での歴史探訪など、「大山さんのおかげ」を体感した講座となりました。



▲下蚊屋まち並み散策で地元の小椋さんに質問！

落ち葉踏みしめく紅葉ウォークく

大山分館

11月4日に紅葉ウォークを行いました。雨模様となりましたが、博労座から金門を目指しました。

雨にぬれた参道を、落ち葉を踏みしめながら歩を進め、金門に到着。金門から賽の河原にかけての風景は、霧も立ち込め幻想的な雰囲気醸し出していました。

参加者は、講師の解説による大山開山1300年の歩みに耳を傾け、紅葉にしっとり染まる大山のウォーキングを楽しみました。



▲金門でパチリ